

明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、世界情勢・経済につきましては、米国トランプ大統領の政策に大きく揺れた一年であったように思います。特に貿易不均衡の是正と国内産業の強化を掲げた相互関税等の強硬な関税政策は、各国を翻弄し、自由貿易体制を混乱させました。さらに、昨年十一月には、米国内の価格高騰を背景として輸入農産物についての相互関税を対象外とするなど、自国都合の関税政策により、世界経済はますます不透明感が増している状況です。

国内では、何と言っても当地大阪において昨年四月から十月までの半年にわたり開催されました大阪・関西万

博です。今後は万博の成果を後世に伝えていくことが重要であり、万博を契機としたイノベーションの萌芽が社会に実装されていくことを期待したいと思います。

政治の世界では、憲政史上初の女性首相による高市内閣が発足しました。物価高対策と経済再生を最重要課題に掲げ、「強い経済」を実現する総合経済対策」をとりまとめ、ガソリン税・軽油引取税の旧暫定税率廃止を実現したほか、成長分野への投資強化策など、その政策効果が期待される一方、積極財政に対しては市場の警戒感もあり、期待と不安が交錯する状況です。

物流業界に目を向けますと、日倉協では、特に本年三月末に期限切れとなる倉庫税制や外国人労働者の受入れなどの課題に取り組み、倉庫税制につ



『新年を迎えて』

大阪倉庫協会会長
小野 孝則
(株式会社住友倉庫
代表取締役会長)



発行 大阪倉庫協会
大阪 市 中央区 今 橋
2丁目3番21号(今橋藤浪ビル)
編集 発行人 筑紫敬司
<https://www.soukoweb.jp/>

いては、倉庫に限定されない物流拠点に対する税制として、固定資産税等の減免措置が二年間延長される見通しとなりました。対象施設要件等の詳細は明らかではありませんが、我々倉庫事業者にとって引き続きメリットのある制度となることを期待したいと思います。一方、当協会においては、日倉協と連携し、会員事業者の皆様の一助となるよう研修・講演の充実に努めた一年でした。

国においては、二〇三〇年度に向けた次期総合物流施策大綱の検討が進められており、今年度中の閣議決定が予定されており、ドライバーの時間外労働上限規制に端を発した二〇二四年問題は、今後さらに深刻化し、これからは「二〇三〇年問題」と呼ばれることになると思います。しかしながら、問題の本質はドライバーに限らず、物流業界全体の担い手不足であり、二〇二四年や二〇三〇年といった特定の時期を乗り越えればよいというものではなく、構造的な問題です。物流の持続可能性が危機的状況に直面している現実を示す言葉として、今後は「限界物流」や「物流崩壊危機」といった、より直接的な表現を用い、社会全体でこの現実を共有していくべきではないかと思っています。

本年につきましては、世界経済の見通しは引き続き不透明感が強く、国内においては効果的な物価高・経済再生政策の実施が待たれるところです。こうした中、倉庫・物流業界としても変化に迅速かつ柔軟に対応し、持続可能な物流体制の構築に貢献していくことが求められます。

それでは、年頭にあたり、本年の所感を述べてさせていただきます。

一点目は、改正物流効率化法に基づいて本年四月から特定事業者制度が開始されることです。特定事業者に指定された倉庫事業者、荷主、トラック運送事業者は、物流効率化に関する中長期計画の作成、定期報告等が義務付けられ、荷主の場合は、これらに加えて物流統括管理者の選任も義務付けられます。特定倉庫事業者に該当するのは、全国で七十社程度と限られますが、荷主については三千二百社のほり、取引先が特定事業者となる可能性

は高く、特定倉庫事業者の指定を受けない事業者であっても、荷主のパートナーとして積極的に改善提案を行うなど、物流効率化への取り組みを一層強化していくことが求められます。

二点目は、標準倉庫寄託約款の改正です。

標準倉庫寄託約款は、一九五九年に制定されてから実質的な改正がなされないまま六十年以上が経過しましたが、昨年十二月に改正内容が公布され、本年四月に施行される予定です。



富士山頂から見るご来光

このたびの改正は、多岐にわたり、損害賠償に関する規定など、寄託者との利害に大きく関わる重要な項目も含まれております。会員事業者におかれましては、実務担当者レベルまで改正内容を十分理解し、実務対応できるよう準備を進められると思いますが、当協会としても、国土交通省や日倉協と連携し、必要な支援を行ってまいります。また、荷主への周知も国土交通省のご協力をお願いしつつ、会員事業者の円滑な対応を後押ししてまいります。

三点目は、人材育成、物流DX・AI、情報セキュリティ対策、防災、環境対応といった従来の取組みの一層の推進です。

これらの課題につきましては、年を追うごとに重要性が増しています。人材確保の困難化、技術革新の加速、情報セキュリティリスクの高度化、震災リスクの高まり、そしてカーボンニュートラルに向けた取組みの加速の必要性等、いずれも待ったなしの状況です。こうした状況に対応するため、内容について時宜を得たものとなるようブラッシュアップしながら研修・講演会を開催してまいります。

本年も会員事業者の皆様のお役に立てるよう、また業界の発展のため、協会活動を推進してまいりますので、皆様方にはご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

結びとなりますが、近畿運輸局ご当局はじめ関係諸官庁、諸団体の皆様の一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。皆様にとりまして本年がより良い年となりますよう祈念申し上げ、私の新年のご挨拶とさせていただきます。

令和八年 新年のご挨拶

国土交通省 近畿運輸局長

服部 真樹



あけましておめでとうございます。令和八年の年頭にあたり、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

昨年は、我が国のほか百五十八の国と地域が参加して開催されました大阪・関西万博が無事に閉幕し、日本国内及び世界の国々から多くの来場者を迎える中で、関西の魅力を改めて国内外に発信することができました。関係の皆様には、来場者の安全・円滑な輸送、市内での滞りない物流、関西一円の観光振興など、各分野において万博の円滑な運営に多大なご協力を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。

本年は、万博を契機として高まった関西への観光の機運を継続し、関西地域の潜在的な魅力を十分に発揮させて、関西への一層の誘客の促進に取り組みます。

一方で、持続可能で安全・安心な交通体系の構築、観光振興を通じた地域の活性化やオーバートラフィック対策、物流の効率化とカーボンニュートラ

ルの実現など、交通・観光行政を取り巻く課題は多岐にわたります。当局といたしましても、関係機関の皆様と緊密に連携し、地域に根ざした施策の推進に努めてまいります。

近年、交通・運輸・観光の様々な分野において人手不足が深刻化しており、生産性の向上と人材の確保は依然として大きな課題となっております。

物流分野においても、国民生活や産業競争力を支える重要な社会インフラである一方で、トラックドライバーの担い手不足などが深刻で、何も対策を講じなければ、二〇三〇年度には三十四%の輸送力不足が懸念されています。このため、政府において「物流革新に向けた政策パッケージ」に基づく二〇三〇年度を見据えた中長期計画を策定し、着実に取組を進めているところでです。

法制度の整備では、改正物流効率化法により荷主・物流事業者に荷待ち・荷役時間の削減や積載率の向上等への努力義務を課したところですが、本年四月からは一定規模以上の事業者に中長期計画の策定と定期報告が義務付けられます。さらに、改正貨物自動車運送事業法では、昨年四月に運送体制を可視化させ適正な運賃収受につなげるため、元請事業者に実運送体制管理簿の作成と、荷主・トラック事業者双方に契約書面の交付を義務化しましたが、昨年六月に公布されたトラック適正化二法により、これらが本年四月から貨物利用運送事業者にも適用されます。

適用されます。

今後は、こうした取組をさらに加速させるとともに、モータリシフトや共同配送、トラック予約システムなどのデジタル技術導入、特定流通業務施設の整備による輸送網の集約など、物流の効率化を推進します。また、二〇三〇年度に想定される輸送力不足への対応、国際競争力の強化、災害等の有事への備えを柱とする「総合物流施策大綱(二〇二六～二〇三〇年度)」を今年度中に閣議決定し、持続可能な物流の実現に向けて関係省庁と連携して引き続き取り組んでまいります。

また男女の異なる課題やニーズを踏まえ、あらゆる政策や事業にジェンダーの視点を取り入れる「ジェンダー主流化」については、国土交通省全体

各委員会・委員長

新年のご挨拶

広報委員会

委員長 土井 正博

(株式会社リクサス会長)



新年明けましておめでとうございます。平素は当委員会の活動にご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。昨年は振り返りますと、四月から始まった関西のビッグイベント大阪・関

で取り組んでいるところであり、当局としても、この方針に沿って関連施策を積極的に推進してまいります。

新しい年を迎えるにあたり、近畿運輸局における施策・所信を申し上げます。関西経済の活性化を図るため、本年も全力を挙げて各種施策を推進し、交通・観光行政を通じて、国民の豊かで快適な生活の実現に貢献してまいりたいと考えております。

本年は午年。皆様方の事業の馬のよきな飛躍的な発展と、皆様方のご健勝、ご多幸をお祈りするとともに、本年も引き続き、近畿運輸局の行政に対し、皆様方からご理解、ご協力を賜りますよう心からお願ひ申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

西万博は「並ばない万博」を目指しながら、交通インフラの不備もあり連日長蛇の列が出来る状態が始まりましたが、暑さ対策等問題を含みながらも最終的には成功裏に終わったかと思えます。万博を機に整備されたインフラが観光客の増加や企業誘致に繋がって経済効果が持続する様、特にIRの開業が実現し新たな観光拠点として大きな経済効果をもたらす可能性に期待したいと思えます。

政治の面では、石破政権が一年で終わり日本で初の女性総理が誕生し、高市政権が発足しました。昨年世界は、トランプ関税に振り回された年でありましたが、そのトランプ政権との関係におきまして、高市政権は強固な同

盟関係を維持しつつ良好な関係を築くであろうと期待致します。

この様な状況下、我々物流業界は二〇二四年問題に代表される働き方改革への対応によりドライバー不足は深刻であり、女性や高齢者など多様な人材の活用、自動化技術の導入など多角的な対策が急務となっています。

当委員会は、昨年、機関紙「蒼光」を通じて各委員の活動内容、行政の施策、業界団体の動き、各種講演会や研修会の内容等を記事にまいりました。今年におきましても時流ののった委員の皆様のお役に立つ内容の紙面構成に努めてまいりたいと考えておりますので引き続きご支援とご協力を賜ります様よろしく願います。

本年が会員の皆様にとりまして良い年になります様、心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

総務委員会

委員長 岩本 保治
(エスケーロジ株式会社社長)



新年あけましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

平素は当委員会にご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は雇用並びに所得環境の改善

やインバウンド需要の増加により景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、継続的な物価上昇に伴う消費者マインドの低下に加えて米国の関税政策等による企業収益への影響が懸念されるなど依然として先行き不透明な状況が続いております。

倉庫業界におきましては、当協会の統計では入・出庫高、保管残高とも概ね前年同月を上回る水準で推移しているものの、人手不足等に加えて諸物価高騰により全般的に事業コストが上昇しており、倉庫料金への価格転嫁が急がれます。また、円滑な価格転嫁の推進にはトラックの標準的運賃制度的な倉庫料金制度の創設が必要かと考えます。

当委員会では、昨年四月から九月までの本年度上期に於いて六月二日に大阪倶楽部にて近畿運輸局幹部の方々をお招きした通常総会の開催や、講演会、研修会等を計十一回(参加者総数六百九十二名)計画通り開催し多くの方々にご参加いただきました。下期に於きましても、講演会、研修会等の開催を計十回計画しておりますので、より多くの皆様方にご参加いただきたくお願い申し上げます。なお、当協会の会員数は本年度上期末時点において百九十六社で昨年度上期末時点より残念ながら一社減となっております。当委員会は致しましては大阪倉庫協会の更なる発展のため、引き続き会員の増強に取り組みたいと考えておりますので、本年も会員の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が会員の

皆様方にとりまして実り多い一年になることをお祈り申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。

物流対策・研修委員会

委員長 黒木 郁雄
(株式会社社住友倉庫
取締役常務執行役員)



新年明けましておめでとうござい

ます。平素は当委員会の活動にご協力、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。さて、昨年の活動を振り返りますと、まず三月に災害危機管理アドバイザーの和田隆昌氏から「企業の災害対策」についてご講演をいただきました。前年には日向灘沖地震による南海トラフ地震臨時情報が発表され、トカラ列島近海の群発地震が起き、東北地方では大規模森林火災が発生するなど、自然災害の脅威を実感している中、長年の災害現場取材に基づいた生々しいお話と多くの貴重なアドバイスをいただきました。次に、九月には、軍事アナリストの小川和久氏から「中国、ロシア、北朝鮮の脅威どころじやない」と題した日本が直面している脅威についてご講演をいただきました。防衛力、国際政治力、セキュリティ対策、テロ対策等我が国の恐ろしいまでに脆弱な危機管理体制と我が国を取り巻く緊迫した世界情勢について認識

を新たにしました。最後に十一月に開催した物流対策委員会と研修委員会の合同研修会では、ソフトバンクロボティクス様の倉庫用お掃除ロボットの実物を見せてもらいました。AIカメラで庫内をマッピングしながら自走するこのロボットは、構造がシンプル且つ頑丈でランニングコストが極小化されているため、導入を検討する価値があるだろうと思いました。

研修委員会では、本年も会員の皆様のお役に立つような情報提供と講演活動を行ってまいりますので、引き続きのご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。それでは、皆様の本年のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

業務委員会

委員長 福山 漢成
(株式会社杉村倉庫社長)



新年、明けましておめでとうござい

ます。平素は当委員会の活動にご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございます。昨年、大阪・関西万博博覧会は蓋を開ければ大成功、阪神は惜しくも日本リーグ優勝、ドジャースは大谷、山本、佐々木の大活躍でワールドシリーズ

を制しました。政治面では、自民党と維新の連立が成立し、高市内閣が発足。「日本をもう一度、高い位置に」というダジャレもさることながら、経済の好循環を期待して、日経平均株価は五万円を突破いたしました。

さて、今年は丙午(ひのえうま)です。六十年周期の干支の中で四十三番目にあたる年で、火の性質を二重に持つことから「情熱や強さ、そして激しさや変化」を象徴する特別な干支とされています。六十年前は「丙午の女性は気が強く、夫の命を縮める」との迷信から、出生率が極端に減少する(前年比二十五%マイナス)という社会現象もありました。

物流業界における「変化」という意味では、改正流通業務総合効率化法において、特定荷主に関する規制の措置が二〇二六年四月以降に施行されます。特定荷主には、物流統括管理者の選任、物流効率化の中長期計画の作成、提出、物流効率化の取り組みに関する定期報告等が義務付けられ、そして、取り組みが不十分な場合の行政処分・罰則が科せられる事となりました。正に、物流を委託する側と請け負う側が、一体となって効率化に取り組んでいく元年となる訳であります。

本年も当委員会では貨物動向の情報発信・共有、意見交換を通じて、業界の発展に貢献したいと考えておりますので、引き続きご支援、ご指導のほどお願い申し上げます。

業界及び会員の皆様にとって、良い一年となることを祈念して、私の新年の挨拶と致します。



中小企業委員会

委員長 山中 恵司

(ダイシン物流株式会社代表取締役)



新年明けましておめでとうございます。平素は当委員会の活動に対し、格別のご理解・ご支援を賜り誠にありがとうございます。厚く御礼を申し上げます。二〇二六年が皆様にとって素晴らしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

さて昨年度、当委員会の活動では、ソフトバンクロボティクス(株)様をお迎えして、自律型AI配膳ロボットのご紹介と、AI掃除機の実機デモをご披露いただきました。説明を聴きながら間近で駆動するロボットの様子は非常に興味深かったです。ロボティクスについて、私たちだからこそ前向きに導入を検討しては、と委員各位と意見を交えました。現場ニーズを把握して、適切な技術を適所に選定する事が成功の秘訣ともお伺いしました。ロボティクス・AIの導入で作業効率を大幅に向上できる一方、従業員スキルアップ、新業務へのシフトが必要となる事も考えさせられる、とても貴重な機会となりました。有難うございました。

私たちは、柔軟性や迅速な対応力・機動力といった強みを活かし、荷主企

業や同業者とも連携をしながら、新サービスやソリューションを提供することで、差別化ニーズに添えて行く必要があります。今の時代だからこそ、物流+αの価値は何かを追い求めながら、業界全体の発展に微力ながら寄与できればと考えています。

最後に、私たちに課された課題として、サステナブル物流の実現、環境配慮型の施策、地域社会との共生、継続的な人材育成など取り組むべき事が山積です。二〇二六年も皆様と共に倉庫業界の将来を見据え、より良い方向へと歩みを進め、新時代への礎を築いて参りたいと思います。引き続き皆様のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

トランクルーム委員会

委員長 丸山 大輔

(三菱倉庫株式会社大阪支店長)



謹んで新春のお慶びを申し上げます。平素は当委員会の活動にご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、夏の記録的猛暑や集中豪雨、台風など、全国的には自然災害の多い一年となりました。関西では大規模災害はなかったものの、各地で災害が発生するたびに社会の基盤を支えるインフラである物流業者として気が引き締まる思いですが、まずは皆様と無事

に新しい年を迎えることができました。たとえ何より嬉しく存じます。

さて、世界情勢に目を向けると、依然としてウクライナや中東の地政学リスク、米中間の経済摩擦、資源価格の変動など不確実性が続いております。

国内では、昨年十月に日本初の女性総理となる高市内閣が発足しました。ガソリン税の暫定税率廃止や物価高対策を柱とする補正予算、DX・脱炭素・国土強靱化への投資などの政策が打ち出され、物流業界への追い風が期待されます。一方で少子高齢化と人手不足は深刻化しており、労働力確保と生産性向上の両立が引き続き重要な課題です。

昨年のトランクルーム委員会活動では、一昨年同期にトランクルーム事業における現状の情報連携並びにトランクルーム事業における料金や寄託約款、認定証等「重要事項の掲載義務化」にしっかりと対応していくことを周知共有いたしました。

大阪・関西万博も昨年無事閉幕し、会場となった夢洲では統合型リゾートやスマートシティ構想が進み、自動運転やAI都市管理など、万博で培われた技術の社会実装が加速しています。こうした動きは物流業界にとって新たなビジネス機会と連携の可能性を広げるものです。私たちもこれらの変化を前向きに捉え、業界全体で知恵を結集し、持続可能な物流の未来を共に築いてまいりましょう。

最後になりましたが、本年が会員の皆様にとりましてより良い年となりますよう祈念いたしまして、私の新年のご挨拶とさせていただきます。



としおとこ

としおんな

株式会社杉村倉庫
大阪港営業所

金本 虎次朗



新年あけましておめでとうございます。私は、平成十四年生まれの今年で、今年で二十四歳を迎えます。四月より社会人二年目が始まりますが、入社がこの間のことのように感じるほどあつという間の一年でした。

配属された当初は、不安で胸がいっぱいだったことを今でも覚えています。

仕事を覚えるに当たって基礎的な知識や経験が何一つ足りていないため、ひたすらにメモを取り続ける毎日でした。そのような中でも先輩方の丁寧なご指導の下、少しずつではありましたが業務に対する理解の定着を実感できる日々でした。

この一年間を通して先輩方から社会人としての基本を教えて頂きました。電話応対やメールの構成などをビジネスマナー研修より実践的に教わることで、より昨年度までの学生だった自分から社会人へと成長することができたと感じています。

株式会社社友倉庫 大阪支店
営業推進課

白岩 実桜



新年あけましておめでとうございます。私は平成十四年生まれの今年で、

今年で二十四歳になります。干支が一巡し、二度目の年女となる節目の年を迎えたことに、時の流れの早さと、これまでの歩みの積み重ねを改めて感じています。思えば、最初の年女の年はまだ小学生で、干支の意味もよくわからないまま、家族に「年女だね」と言われて嬉しかった記憶があります。あれから十二年が経ち、今では社会人として新たな一歩を踏み出し、社会人二年目に差し掛かろうとしています。

入社当初は、パソコンの基本的な操作すらままならず、ビジネスマナーやメールの書き方など、社会人としての基礎を一つひとつ学ぶ日々が始まりました。学生生活から社会人生活へと大きく環境が変わる中、目の前のことに対応するだけで精一杯だったことを、今でも鮮明に覚えています。慣れない業務に戸惑いながらも、少しずつできることが増えていく中、周囲の方々の支えや励ましに助けられ、前に進むことができました。この一年は、社会人としての土台を築く大切な時間だったと感じています。

また、日々の業務を通じて、私は本当に周囲の方々に恵まれていると実感しています。右も左も分からない状態で不安を抱えていた私に対して、「わからないことがあれば、いつでも聞いてね」と温かい言葉をかけてくださり、忙しい中でも手を止めて、丁寧に教えてくださる先輩方の姿に、何度も救われました。その温かい言葉や丁寧な指導に、日々助けられていることを実感しています。

今年は、今までいただいたご指導を自分の力に変え、仕事の質を高めることを目標にしています。少しでも成長

した姿で周囲に恩返しができるよう、日々の業務に真摯に向き合っています。

末筆ながら、皆様にとって新しい一年が笑顔と幸せに満ちた素敵な時間となりますよう、心からお祈り申し上げます。

三井倉庫株式会社 関西支社
大阪港事務所

清沢 周



新年あけましておめでとうございます。私は平成十四年生まれの今年で、今年で二十四歳になります。

四月の新人社員研修が終わわり、初めて現場事務所を訪れた時の不安と緊張が今でも鮮明に思い出されます。案内してもらった倉庫内は、非常に広大で様々な貨物が所狭しと置かれており、そのスケール感に圧倒されました。社会人として働く中で得た学びの一つは、自分なりに考えて答えを出してみることの大切さです。入社した当初は、慣れない物流用語や絶え間なく続く基礎業務など目まぐるしい毎日でした。一つできることが増えても思うように業務を覚えられない状況に直面するなど、一歩進んでは戻ること

を繰り返しているような感覚にも陥りました。業務に必死に食らいつこうとするうちに、気付けば自分なりに考える余裕もなくなり、マニュアルをもとに取り組むだけになったり、先輩にただ頼るだけの場面も生まれたりしました。実際に、現場作業員との打ち合わせにおいても、先輩社員から借りてきた言葉をそのまま喋っている程度で、自分でさえも何を言っているのか分からないこともありました。そのような中、社会人として成長を実感できた瞬間があります。それは、先輩社員の不在日と、参加している現場改善のプロジェクトです。二つに共通することは、自分の頭で考えて動くことが求められる点です。これは予期せぬトラブルが連続する物流業界で働くにあたり、必要不可欠な力であり今後も高めていきたいと思っています。

直近の目標は、担当する貨物が倉庫内のどこにどれだけあるのかを抑え、いづれの量が入って出たのかを把握し、いづれは担当以外の貨物の流れにまで広げることです。今後はより一層仕事を任せてもらえるような社会人になれるよう、日々の業務において努力を重ねたいと思います。



大阪倉庫協会 役員の異動

理事交代

◆ケイヒン株式会社関西営業部
(前)関西営業部長 徳久 幸治
(新)関西営業部長 平川 卓
(令和七年十二月五日)

日倉協人材確保委員会報告

令和七年十一月十九日(水) 於協会会議室

講師 阪南倉庫株式会社
代表取締役社長 堀畑 浩重氏

去る十一月十九日の例会終了後、当協会理事である堀畑浩重氏による日倉協人材確保委員会の活動報告が研修委員会より開催された。

堀畑理事は日倉協評議員として二〇二四年六月に発足した人材確保委員会委員を務めており、今回は、倉庫業における人材確保の現状とその対策についての報告である。

倉庫業における人材確保の現状と日倉協の対策

日倉協は、令和五年度に施行されるトラック事業者向けの働き方改革、いわゆる二〇二四年問題を受け、社会インフラである物流の停滞を回避する必要性から、二〇二四年六月に人材確保委員会を発足させた。政府の試算では、何もしなければ二〇三〇年には輸送力が三十四%不足する事態となるため、国民全体で物流を支える体制づくりが求められている。日倉協は、物流事業者としてこの課題に取り組むべきという強い意思のもと、委員会を創設した。

深刻な営業倉庫の人手不足と将来予測

当初、人手不足の議論はトラック事業者の課題に焦点が当たっていたが、日倉協は倉庫業の実態調査を行った。

厚生労働省が調べた倉庫の有効求人倍率は一・七六倍であったが、これは自家倉庫や工場内倉庫を含む数字であり、営業倉庫の状況を正確に反映していないという懸念があった。これを受け、日倉協が緊急で実施した労働環境アンケート(全三千社以上が対象)の結果、営業倉庫における実質有効求人倍率は二・八倍に達することが判明し、これは運送事業者よりも厳しい状況を示している。

人材不足率は、現時点(二〇二四年)で倉庫事業者の七・五%であるが、五年後(二〇三〇年)には十五・九%まで拡大すると予測される。職種別では、特にフォークマンと現場作業員の不足が顕著であり、二〇三〇年では両者とも十七・三%の不足が見込まれる。また、管理職も十四・七%の不足が予測されている。

採用活動の現状と施策の効果検証

会員事業者のうち、毎年新規採用を実施している企業は四十五・九%と半数を下回るが、採用総数では新卒採用が五十四%を占め、新卒採用の中でも特に大卒採用(二十二・八%)の比率が高い。採用活動の手段として、中途採用ではホームページや求人サイトの活用(百社)が最も多く、ハローワークの活用(四十九社)も非常に多い。一



・定着に効果が高かった施策
週休二日制度の導入、ユニークな
休暇制度や有給がしっかり取れる
体制といった休暇制度の整備で

・採用効果が高かった施策
インターンシップの活用(大学・専門
門学含む)が最も効果が高く、学
校の就職課との接点増加や住宅の
準備も採用に有意な効果があった。
求人票を会社の良さをアピールす
る「ラブレター」と捉え、分かりや
すく魅力的な内容にすることが重
要である。

方、新卒採用は、学校との直接的な関
係構築を除き、他社や他業界との競争
が激しく苦戦している企業が多い状
況である。
二〇二四年度の委員会活動では、新
卒採用が年々厳しさを増している実
態が改めて確認された。特に高卒採用
は厳しく、令和七年度の採用なしの比
率が前年度の三十五・四%から四十・
八%へと増加した。各種対策の相関調
査の結果、以下の点が判明した。

あった。企業側は「職場の雰囲気」
を重要と考えるが、実行している
対策は「賃上げ」「有給の取得」と
いった制度的な項目に偏っていた。
効果が低かった施策
リファラル採用、社員向けレクリ
エーション、若手従業員のモチ
ベーション施策などは、採用や定
着への効果が限定的であり、ハラ
スメントなどの相談窓口の設置も、
定着への相関性は低いとされた。

今後の活動の方向性
委員会は、採用には新しい方法の研
究、定着には制度設計の研究が重要で
あると結論付け、今後はこれらの成功
事例を広く共有していく方針である。
好事例を日倉協ホームページ内に開
設するウェブページで、採用方法、人
事制度、人材定着といった検索項目別
に公開する仕組みを構築することを
検討している。

また、中途採用に軸足を移した企業
における人の育て方や評価のあり方
などの制度設計を、他業界の研究も踏
まえて共有すべき課題と示された。さ
らに、地域別の情報収集と分析を行い、
日倉協と連携することも重要である
という提言が出ている。

日倉協人材確保委員会は、業界全体
の繁栄につながるよう、成功事例の共
有や情報提供に引き続き努力してい
く方針である。

※リファラル採用
企業の従業員が知人や友人を紹介
し、その紹介を通じて採用を行う手
法



・約款の役割
・保険 損害賠償
・時効 免責

この研修会では、倉庫寄託約款の解
説と約款に関するトラブル事例と解
決方法を中心とする倉庫管理の実務
を学ぶとともに、寄託契約書や覚書の
雛形を活用してその作成方法などを
学んでいくことを目的としている。
倉庫寄託約款の解説と約款に関する
トラブル事例と解決方法を中心とする
倉庫管理の実務を学ぶとともに、寄託
契約書や覚書の雛形を活用して、その
作成方法などを学んでいただいた。
参加者は四十二名、研修終了後受講
済証が手渡された。

大阪倉庫協会研修委員会は、十一月
研修会として、中堅クラス社員を対象
とした「倉庫法令実務専門研修」を開
催した。

社員研修会開催

倉庫法令実務専門研修

令和七年十一月二十五日(火)
於 協会会議室

国土交通省では、広く国民に現在の
情報化に関する理解を深めていくた
め、関係府省(経済産業省、内閣府、総
務省、財務省、文部科学省)と連携し、
「情報化月間」の十月を中心に、情報化
促進のための各種行事を毎年実施し
ている。

日本倉庫協会DX促進・情報セキユ
リティ委員会、近畿倉庫協会連合会、
兵庫県倉庫協会では、会員事業者の情

情報化月間
協賛講演会開催

令和七年十月二十七日(月)
於 大阪科学技術センター

二、トラブル事例の解説
・誤渡し、火災事故
・在庫証明書の事件
・米の変質(及び発生)
・過去の係争事件となったトラブル
三、寄託契約締結のポイント
・契約締結時における留意点
四、理解度テスト、質疑・応答等

講師
(株)NX総合研究所
コンサルタント 田代 信行氏
アンケート評

受講者は事務職(二十二名)と管理
職(十六名)が中心であり、約九割が
研修内容の理解度、プログラム構成、
指導等を「良かった」「適切だった」と肯
定的に評価された。

参考になった点としては、標準倉庫
寄託約款の内容や知識を深められた
こと、寄託契約書作成時のポイントや
注意点、および具体的なトラブル事例
が多く挙げられた。受講者は、約款に
基づく実務の再確認や、約款の適用
順位や効力が強いことの理解を得て
おり、これらを今後の業務や契約部
下・新人への指導などに活かしたい意
見があった。

生産性向上説明会開催

令和七年十二月一日(月)
於 大阪科学技術センター

近畿倉庫協会連合会は、去る十二月
一日(月)大阪科学技術センター四階四
〇一号室において(一)社 日本倉庫協
会との共催により生産性向上説明会を
開催した。この説明会は、会員事業者の

第二部
「GROUNDが支援する、DXを
活用した物流センター改革」
講師
GROUND株式会社
執行役員ソリューション本部長
品川 竜介氏

第一部
「生成AIとノーコードが牽引す
る新たなDXの世界」―物流系・倉
庫系事例を中心に紹介―
講師
一般社団法人ノーコード推進協会
代表理事 中山 五輪男氏



デジタル化等を通じた生産性向上に資する支援策の一環として、各地区倉庫協会連合会単位で開催された。

物流総合効率化法を活用していただくために、物効法の概要、認定取得のメリット、実際の認定事例等について説明された。また、物流DXの導入を推進するために、物流DXの概要、自動化・機械化に係る新技術、導入事例等が紹介された。さらに、近年激甚化する傾向にある自然災害への対応として、BCP策定の必要性や事業継続力強化計画の活用について紹介された。

参加者は四十一名。

説明会の内容は次の通りである。

第一部

『新物効法の規制的措施について』
講師
近畿運輸局交通政策部
環境・物流課 主査 橋本 礼氏

第二部

『倉庫業の未来はここから始まる』
AI+ノーコードによる次世代オペレーション』
講師
株式会社クレヴァシステムズ
キウエアグループ
主席エバンジェリスト

佐藤 貴憲氏
(一般社団法人ノーコード推進協会
地方創成部会 部会長)

第三部

『生産性を高めるトヨタ式“考える組織”のつくり方』
5S+ムダ+問題解決で現場を変える』
講師
株式会社OJTソリューションズ
エグゼクティブトレーナー

丸山 浩幸氏

第四部

『(一社)日本倉庫協会からのお知らせ』
講師
一般社団法人日本倉庫協会
業務部 課長代理 飯島 祐太氏



令和七年度 関西広域応援訓練(実動訓練)実施



去る十一月十三日(木)、令和七年度関西広域応援訓練が株式会社関西丸和ロジスティクスAZCOM Logistics Kyoto(京都府八幡市)にて実施された。

今回は初の民間施設を活用した0次物資拠点開設・運営訓練が実施された。訓練の想定は、①南海トラフ地震により、和歌山県・徳島県を中心に関西圏域に被害が発生。②和歌山県の一

次物資拠点が一時的に使用不能となり、和歌山は関西広域連合に支援を要請。③関西広域連合は要請を受け、0次物資拠点を三木総合防災公園で開設することを決定し兵庫県と調整の上で開設。④民間事業者からの運営要員確保が困難な期間で行政職員中心の運営(パターン1)。⑤その後入庫出

庫業務を民間事業者で作業班の役割を担う想定(パターン2)。⑥数か月経過後に拠点施設を民間物流事業者保有管理の場所へ移設し、入出庫調整・在庫管理を物流会社へ委託する想定(パターン3)。について手順説明があった。

図上訓練では民間拠点としての0次物資拠点(パターン3)の開設計画が図上訓練とされた。そのための引継事項が被災県・関西広域連合・0次拠点県・応援府県市、そして物流事業者中心の民間事業者間での物資搬出を行う想定で限られた時間の中、実施された。

その後、開設・物資搬入および倉庫での搬出実動訓練を行い、民間事業者による安全講習を通じて行政職員側



の作業理解を深めた。

実動訓練終了後、各グループで訓練の振り返りを行い、意見を共有した。最後に各グループで示された意見をファシリテーターが発表して参加者全員が各グループの意見を共有して、十七時に全ての予定を終了した。

物流ひとくちメモ

情報セキュリティ対策について

情報セキュリティをめぐる環境は年々厳しさを増しており、昨今ではランサムウェアによる企業攻撃が大きな社会問題となつていく。実際に甚大な損害を被る企業は後を絶たず、天災等のように被害が局所にとどまるものではなく、企業全体に及ぶケースが多い。

もちろん、脅威の対象はランサムウェアに限らず、広くマルウェア(悪意のあるソフトウェア等)全般に及ぶ。

物流業者である我々は、川上から川下まで多様な企業と接点を持ち、日々情報共有を行っている。そのため、自社内での感染防止はもちろん、取引先を巻き込まないよう外部からのリスクを抑えることも重要となる。

セキュリティ対策には、ネットワークやデータベースなどの技術的対策、教育や運用管理といった組織的対策、入退室管理や監視カメラなどの物理的対策など、多層的な取り組みがある。これらは会社主導で専門部署や外部業者と連携しながら強化していく。一方で、従業員一人ひとりが今日から実践できる基本的な対策も存在す

る。

ここでは、従業員が即実行できる対策を六つ挙げる。

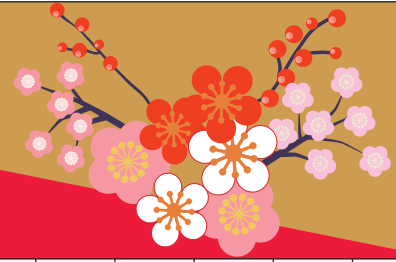
- ① OSのアップデートを確実にを行うこと(PCを毎日シャットダウンする等)
- ② メールを送信元ドメインを必ず確認し、不審なものは絶対に関かないこと
- ③ 不審なウェブサイトにアクセスしないこと
- ④ PC機器を机上に放置せず、業務外の時間帯は必ず片付けること
- ⑤ 社内情報が記録されたPC機器の無断持ち出しを行わないこと
- ⑥ 私物の情報機器を社内が無断で持ち込まないこと

どれもシンプルだが、今日からすぐに取り組める重要な行動である。より詳しく知りたい場合は、(独)情報処理推進機構(IPA)のホームページや、各種専門サイトをぜひ参照してほしい。

情報セキュリティについては「歳だから」「インターネットに疎い」といった理由が通用しない時代になった。我々自身が日頃から意識を高く保ち、増え続ける脅威に対抗していくことが極めて重要である。

〈東洋埠頭(株) 大阪支店
鶴田 裕史氏 寄稿〉

新年



谷川運輸倉庫 会 株 式	大日本倉庫 会 株 式	大翔トランスポート 大 阪 営 業 所 会 株 式	住友倉庫 会 株 式	商船港運 物 流 事 業 部 会 株 式	山九 会 株 式 大 阪 支 店	阪口倉庫 会 株 式	興國海運 会 株 式	久保物流産業 会 株 式	共正陸運 大 阪 支 店 南 港 営 業 所 会 株 式	関西化成品輸送 会 株 式	カドヤ 会 株 式	大阪セコー運輸 会 株 式	大阪運輸 会 株 式	梅田運輸倉庫 会 株 式	一宮運輸 会 株 式 物 流 セ ン タ ー 大 阪 支 店	アクロストランスポート 会 株 式
田測倉庫 会 株 式	太 陽 会 株 式	大信運輸倉庫 会 株 式	住友倉庫大阪支店 会 株 式	シンク 会 株 式	サントワロジスティクス 南 大 阪 支 店 会 株 式	サカタウエアハウス 会 株 式	合 通 ロ ジ 会 株 式	グリーン物流 会 株 式	京町堀運輸倉庫 会 株 式	岸貝運輸 会 株 式	カネミ倉庫 大 阪 支 店 会 株 式	大阪倉庫 会 株 式	大阪運輸倉庫 会 株 式	エスケーロジ 会 株 式	伊藤忠ロジスティクス セ ン タ ー 食 料 事 業 本 部 会 株 式	アサヒコーポレーション 会 株 式
千島土地 会 株 式	太陽流通センター 会 株 式	ダイシン物流 会 株 式	セシコー 会 株 式	新洋海運 会 株 式	三和倉庫 大 阪 支 店 会 株 式	櫻島埠頭 会 株 式	鴻池運輸 会 株 式	ケイアイ 大 阪 営 業 所 会 株 式	協和海運 会 株 式	北之坊倉庫 会 株 式	会 株 式 組 大 阪 支 店	大塚倉庫 会 株 式	大阪機船 会 株 式	NRS 大 阪 物 流 セ ン タ ー 会 株 式	猪井運輸 会 株 式	会 株 式 あゆみのロジフォレスト
中央倉庫大阪支店 会 株 式	瀧定関西商品センター 会 株 式	大 通 会 株 式	千里運輸 会 株 式	伸和倉庫 会 株 式	J 良貨物ロジスティクス 関 西 支 店 会 株 式	サザンポートサービス 会 株 式	寿運輸倉庫 大 阪 営 業 所 会 株 式	京神倉庫 高 槻 支 店 会 株 式	旭菱倉庫 会 株 式	木津川倉庫 会 株 式	川 相 商 事 会 株 式	奥 田 数 会 株 式	大阪港埠頭ターミナル 会 株 式	NNPロジスティクス 会 株 式	インターナショナル 関 西 支 店 会 株 式	新井運送 会 株 式
中鋼運輸 大 阪 営 業 所 会 株 式	会 株 式 竹 尾 大 阪 支 店	会 株 式 大 都 運	会 株 式 大 運	会 株 式 杉 村 倉 庫	滋賀近交運輸倉庫 大 阪 支 店 会 株 式	会 株 式 サチコーポレーション	会 株 式 小 山 倉 庫	会 株 式 ケイヒン 関 西 営 業 部	近畿製粉 会 株 式	キャブソン 会 株 式	川西倉庫 大 阪 支 店 会 株 式	奥 本 製 粉 会 株 式	大阪港木材倉庫 会 株 式	F I D 会 株 式	会 株 式 インターロジサービス	会 株 式 アルプス物流 大 阪 営 業 所
塚本倉庫 会 株 式	会 株 式 辰 巳 商 會	大 同 倉 庫 会 株 式	大 協 通 運 会 株 式	杉 本 倉 庫 会 株 式	澁澤倉庫 大 阪 支 店 会 株 式	佐野倉庫 会 株 式	金 剛 会 株 式	会 株 式 ケーエスケー	会 株 式 クトク運輸倉庫	会 株 式 キユーシー流通システム 枚 方 営 業 所	関 空 運 輸 会 株 式	会 株 式 ガスケミカル物流西日本	大阪梱包運輸 会 株 式	会 株 式 オーエステイ物流	上 田 倉 庫 会 株 式	飯 坂 製 粉 会 株 式

																
大阪倉庫協会 広報委員会一同	株式会社 ロイヤルコーポレーション	株式会社 山村ロジステイクス	株式会社 安田倉庫 大阪営業所	株式会社 南花田共同倉庫	株式会社 三木運輸倉庫	株式会社 丸全昭和運輸 関西支店	株式会社 間口運輸	株式会社 藤原運輸	株式会社 藤井倉庫	株式会社 放出運輸倉庫	株式会社 日本トランスシティ 大阪支店	株式会社 日清物流 堺バルクセンター	株式会社 南海通運	株式会社 中谷運輸	株式会社 東洋埠頭 大阪支店	株式会社 辻西運輸倉庫
	株式会社 ロジテック	株式会社 ユー・エス・エス 大阪会場	株式会社 藪吉倉庫	株式会社 宮瀧運輸	株式会社 瑞穂商事	株式会社 丸長運送	株式会社 マツダ運輸大阪	株式会社 古河運輸	株式会社 藤久運輸倉庫 関西事業部	株式会社 ハリマ共和物産	株式会社 日本物流	株式会社 日本通運 大阪支店	株式会社 ニシケン流通	株式会社 ナカノ商会 物流事業本部 西日本支店 関西支店	株式会社 東洋埠頭青果センター	株式会社 津田物産
	株式会社 ロジパルエクスプレス 大阪南港物流センター	株式会社 郵便 全	株式会社 ヤマザキ物流	株式会社 村田倉庫	株式会社 三井倉庫 関西支店	株式会社 丸二倉庫	株式会社 松菱	株式会社 豊興ロジステイクス	株式会社 藤阪倉庫運送	株式会社 阪急阪神エクスプレス 西日本ロジステイクス管理課	株式会社 日本ロジックス	株式会社 ニッポンロジ 大阪流通センター	株式会社 ニシリク	株式会社 中野倉庫運輸 近畿支店	株式会社 東洋紡ロジステイクス	株式会社 ティカ倉庫
		株式会社 湯川倉庫	株式会社 ヤマタネ 物流カンパニー 関西支店	株式会社 明新運輸	株式会社 三井倉庫港運	株式会社 丸福倉庫	株式会社 丸石	株式会社 北摂倉庫	株式会社 富士シシクホールディングス 大阪事業部	株式会社 阪南倉庫	株式会社 仁和寺倉庫	株式会社 日本紙運輸倉庫 関西支店	株式会社 日栄倉庫	株式会社 浪速通運	株式会社 東洋メビウス 近畿物流センター	株式会社 帝國倉庫 関西営業所
	株式会社 米澤運送	株式会社 山忠運輸	株式会社 メロス	株式会社 三井倉庫 茨木レコードセンター	株式会社 丸紅ロジステイクス りんくう物流センター	株式会社 丸榮	株式会社 北港運輸	株式会社 藤浪倉庫	株式会社 阪南タンクターミナル 大阪主管支店	株式会社 濃飛倉庫運輸	株式会社 日本興運 大阪支店	株式会社 日伝	株式会社 NAM	株式会社 鳥居運送	株式会社 寺本運輸倉庫	
	株式会社 リクサス	株式会社 ヤマト運輸 大阪法人営業支店	株式会社 森吉物流倉庫 大阪支店	株式会社 三菱倉庫 大阪支店	株式会社 丸山物流	株式会社 マルカミ物流	株式会社 前田産業	株式会社 富士物流 関西支店	株式会社 日和橋倉庫	株式会社 延原倉庫	株式会社 日本塩回送 大阪支店	株式会社 日新 関西支店 関西倉庫部	株式会社 南海倉庫	株式会社 トレーディア 大阪営業所	株式会社 東亜物流	

私の余技

この度は、歴史ある機関誌「蒼光」投稿の機会をいただき誠にありがとうございます。

「私の余技」ということで依頼を受け意味を確認すると「専門以外に身につけた技芸とありました。しかしながら、皆さまにご紹介できる余技と呼べるものはありませんので、これまでの会社人生で変化点の一つとして単身赴任があり、それまでは家族で一緒の時間を過ごすのが当たり前であったのが、特に休日は自分のために時間を使いこれまで出来なかったことを多く経験することができましたので、お題を休日の過ごし方(休日にしていただくこと)として紹介させていただきます。単身生活は二〇一五年から二〇二二年までの計八年間ですが、単身赴任の大半を過ごした北陸地方(石川県、富山県)での経験に絞りたいと思います。旅行で何度訪れても現地の人でしか知らない場所や、生活してないとできなかった体験があり、今でも印象に残っています。

石川県金沢市は小京都と呼ばれる城下町であり、観光するにはエリアも大きくなく日帰りで金沢発であればどこでも行ける場所です。観光地といえば定番ですが日本三大庭園の一つ兼六園、庶民の台所近江町市場、東茶屋街等、すこし足を延ばして能登半島には、松本清張の作品「ゼロの焦点」に出てくる巖門、朝ドラ「まれ」の舞台など観光する場所はまだまだあり、ドライブするにしても能登半

島の海岸沿いの道から海を眺めながら走ると信号がありません。

またそれまで二回ほどしか行っていないかったゴルフを冬は雪でゴルフ場がクローズするので気候のいい限られた時期だけです。年十回以上行かせてもらいました。なかには参加者百人ほどの飲み屋のコンペが年二回あり、景品で生卵百個や能登半などもゲットしました。

連峰がそびえ、気温が低く空気が澄んだ朝方は稜線がはっきりと見え最高の景色です。観光地としては、黒部峡谷(黒部ダム)、雪の壁で覆われた道を行く立山黒部アルペンルート、五箇山の合掌造り集落、日本海側最大級の斜張橋である新湊大橋、滑川市の蜃気楼など、見所はたくさんあります。

また社宅から海が近いこともあり夏は同僚が所有していた小型船舶に決する内容の誓約書を記入したのでかなりびびっていたなと思います。小型船舶を所有している同僚は釣りも好きなため、大漁の際は社宅までアオリイカ、シイラ、ブリ、ホタルイカなど分けてもらっていたので、ユーチューブの動画で魚の捌き方を学び、人生初、アオリイカの解体や魚の三枚下ろしを行い美味しかったです。ブリは流石に解体された半身でしたが両手でないと持てない大きさでした。

ホタルイカは波打ち際でもとれると聞き、シーズン限定ですがネットで拡散されるホタルイカ情報(どこの海岸でホタルイカが大量発生している、または予想など)を見て夜中から朝方まで海へ行きましたが全く発生しておらず、あきらめて帰ってすぐ寝たことを覚えています。普通に近所のスーパーでホタルイカの刺身が売られているので取りに行く必要はなかったのですが、これもいい経験です。私自身は釣りに興味を持っていませんが、釣りに興味があれば海釣りや休日の大半を過ごしていたかもしれません。



続
261

株式会社中央倉庫 大阪支店長

伊藤 泰三



乗ってジェットスキー、ウエイクボードでの海面を走り、またフライボードでの空中散歩も経験しました。フライボードは結構な高さまで上がった感覚でしたが、同僚が撮影してくれた写真を見ると「メートルほどしか上がっておらず、フライボードを申し込んだ際、同僚技で発生した事故はすべて自己責任で解

ん。

ここまで観光やレジャー等の印象深かった出来事を紹介してきましたがいよいよばかりではありません。北陸の冬場は積雪が少なくなつたといえ何度かは大雪があります。特に富山県にいた時期は毎年大雪があり、雪が積もり始めれば夜中から除雪作業を行っていました。雪は大雪のあとでも降り続けますので先の見えない除雪作業を何日も行い、京都にいた場合の一生で経験する以上の雪を触ったと思います。

単身生活も終わり京都に戻ってからです。この一年は新たに家庭菜園を始めました。土日祝のみの活動ということであまり手がかららない野菜を中心に育てていますが成功も失敗もあります。農作物を育てることとは自己満足ではありますが自分が植えた野菜の成長を毎日目でみて感じ取れ、自分で育てた野菜は見た目きれいでありませんがなぜか美味しく感じられるところにはまっています。

私の性格は飽き性でもあるので家庭菜園もいつまで続くかわかりませんが健康で体が動くあいだはやり続けたい、これからも新たなことに挑戦していきたいと考えています。

最後になりましたが、二〇二六年が皆さまにとって素晴らしい一年になることをお祈り申し上げます。